みんなで生きよう

神さまのこどもたち

2026年 34号

デザイン／ MiKEtto

日本キリスト教団教育委員会 編

献金振込先：振替 00150-8-27638 日本キリスト教団教育委員会



全国の皆さん、クリスマスおめでとうございます！

イエス様の誕生をお祝いしましょう。今年もウクライナ、パレスチナ、能登、アイヌ、東北のおともだちをおぼえて献金をささげます。
キリストの愛と平和が、世界の皆さんのもとにおとずれますように！

今年のクリスマス献金は 2026年度

ウクライナの子どもたち

［特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン］

2022年２月のロシア軍による侵攻からもうすぐ５年。終わらない戦争の中、今年もウクライナの子どもたちのために献金を集め支援します。学校も壊され、子どもたちはリモートで授業を受けています。ウクライナ国土の30パーセントに地雷や不発弾が埋められ、おもちゃのように見える地雷は子どもたちにとって大変危険です。

チャイルド・ファンドはウクライナ国内、隣国モルドバで支援を続けています。**①子どもたちや女の子への衛生用品・生理用品の支給②リモート学習のためのPC・タブレット支給③地雷の危険を伝える啓発活動④アートセラピーなどの心のケア⑤冬を越すためのヒーターや防寒着の支給**　みなさんの献金が大きな力になります。

心のケアのアクティビティ



© WeWorld

パレスチナ・ガザ地区の人々

［アハリー・アラブ病院（聖公会エルサレム教区運営）］

アハリー・アラブ病院とガザの人々へのあたたかいお祈りとご支援に心より感謝いたします。

2023年10月に始まったイスラエルによるガザへの侵略破壊行為。2025年10月の停戦後も多くの市民、女性や子どもたちが傷つけられ、これまでに７万３千人の命が奪われました。

アハリー・アラブ病院はガザ北部にある外傷専門病院・総合病院です。ガザの病院の多くが破壊されたため、毎日約500名の患者を受け入れ、特に弱い立場の患者を優先し30件ほどの外科手術を無料で実施しています。心のケアの支援も行っています。
薬や消耗品、医療器具の不足、不安定な燃料供給、専門医療スタッフの不足など、課題がたくさんあります。引き続き祈りに覚えましょう。



病院で治療を受ける子ども

クイズ

正解者にはクリアファイルをプレゼント！

マリアさんにあらわれた天使のなまえは何でしょう？

「六か月目に、天使（　　）は、
ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。」

①ナタナエル　②ガブリエル　③アリエル

▶ヒント　ルカ1：26

住所・名前・年齢・教会名を忘れずに。

しめきり　2027年1月31日　ファックス　03-3207-3918

送り先　日本キリスト教団教育委員会 宛
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

▶切り取って献金袋にはってね！



名前

金額

今年のクリスマス献金は 日本のおともだち

［北陸学院キリスト教センター・支援窓口］能登半島地震・支援活動のために


能登の食材を使ってピザ作り

2024年1月の能登半島地震、9月の能登豪雨。金沢市にある北陸学院では、大学生と教員が中心となり被災地支援活動を行ってきました。**学生たちは困っている場所で一緒に作業したり、足湯でほっこりお話をしたり、ピザを一緒に作って食べたり、ハンドベル演奏をしたり、「能登の人たちの隣り」にいて活動をしてきました。**地震から3年、能登が忘れられてしまうことが心配です。これからも覚えていてください。

［北海教区アイヌ民族情報センター］アイヌ奨学金 キリスト教協力会

アイヌ民族は昔から自然と共に生きてきました。その一方、日本から土地や文化、言葉、多くの権利を奪われてきました。35年前、アイヌの皆さんと共に歩みたいと奨学金の支援を始めました。**今年の奨学生は高校生5名・大学生4名です。また「とかちエテケカンパの会」（小・中学生への学習支援やカナダの先住民族との交流会実施）、今年はあらたに「静内のアイヌグループ」にも支援します。**

［東北教区］放射能問題支援対策室いずみ

2011年3月11日の東日本大震災。福島の原子力発電所事故による放射能汚染。子どもたちの健康を守るために、2013年から活動しています。




2026夏　親子保養プログラムin北海道

①甲状腺検査や健康相談　②親子保養プログラム　③「子ども脱被ばく裁判」「311子ども甲状腺がん裁判」などの支援。今年は3年ぶりに北海道で親子保養プログラムを実施しました。参加者やスタッフの笑顔があふれました。

2025年度 クリスマス献金報告

昨年度の献金は総額で6,737,979円（411件）。ありがとうございました。感謝して、以下の団体・教会に配分させていただきました。　＊残金は広報費などに用いました。

- 特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン ≪ウクライナ緊急支援≫（150万円）
- アハリー・アラブ病院（パレスチナ・ガザ地区）（75万円）
- 北陸学院キリスト教センター≪能登半島地震の支援活動≫（75万円）
- 北海教区アイヌ民族情報センター・アイヌ奨学金キリスト教協力会（100万円）
- 東北教区放射能問題支援対策室いずみ（150万円）
- 「教会学校応援セット」（6教会）560,893円